

口唇口蓋裂について

口唇口蓋裂	<p>◇症状</p> <p>1. 口唇裂とは</p> <p>口唇（くちびる）に披裂を生じて生まれる病気のことをいう。人の顔は、お母さんのおなかの中でいろいろな突起（顔面突起）が組合わされてつくられている。、その途中ではすべての人がいろいろな披裂をもっている。口唇裂とは、生まれてくるまでに口唇の部分の披裂がなくならなかった状態（口唇がくっつかなかった状態）をいう。どんな人でもすべて胎児のときは口唇裂の状態だったといえ、どんな人の子供も口唇裂になる可能性がある。</p> <p>2. 口蓋裂とは</p> <p>最初、赤ちゃんは、お母さんのおなかの中で鼻腔（はな）も口腔（くち）も、まだ境がない。だいたい胎生の9週ごろに左右の口蓋突起がのびてきて、口蓋（上あご）がつくられる。口蓋裂とは、赤ちゃんが生まれてくるまでに口蓋突起が最後までくっつかなかった状態をいう。人は誰でもある時期まで口蓋裂の状態で、どんな人の子供も口蓋裂になる可能性があります。</p> <p>◇学童期に行われている治療</p> <p>口唇、口蓋裂児の家族にとって、幼児期、学童期は、一次手術を終了し、手術前に比べ精神的にも安定しており、一般的に、この時期には口唇、口蓋裂の治療のほとんどが終了したというような感じさえある。しかし、この時期に治療を必要とする多くの子供たちがいる。言語の障害、中耳炎、顎や歯列狭窄、審美上の問題など、この時期には子供さんひとりひとりで治療の要否が、また、治療の開始時期が異なる。児童ひとりひとりについて、治療の内容などについて先生が理解しておいて頂くことが重要である。</p>	特定非営利活動法人 日本口唇口蓋裂協会 aichi-gakuin.ac.jp/~jcpf/
-------	---	--